

我が国における牛海綿状脳症（BSE）対策に係る食品健康影響評価  
新旧対照表

修正箇所	新 (5月6日)	旧 (3月31日)	修正理由
8頁, 下から 6行目	飼料輸出国における BSE 汚染の実態は不明であり、	輸出国における BSE 汚染の実態は不明であり、	わかりやすくするために修正した。
25頁, 5行目	1ID <sub>50</sub> (50%の確率で1頭発症する用量)は、約 <u>0.38g<sup>48)</sup></u> と推測されている。	1ID <sub>50</sub> (50%の確率で1頭発症する用量)は、約 <u>0.38g</u> と推測されている。	参考文献を明記した。
26頁, 6行目	2003年7月以後の生まれで20ヶ月齢以下の牛群に BSE 感染牛が含まれる規模は、年間多くても <u>0.4~1.7 頭以下</u>	2003年7月以後の生まれで20ヶ月齢以下の牛群に BSE 感染牛が含まれる規模は、年間多くても <u>0.4~2 頭以下</u>	他の記述(24頁,17行目等)と整合性を図った。
27頁, 表中、感 染率	年間 <u>0.4~1.7 頭以下</u>	年間 <u>0.4~2 頭以下</u>	同上
35頁, 21行目	<u>48 Lary, G. Paisley., Julie, Hostrup-Pedersen. Preventive Veterinary Medicine, 2005; 68:263-275</u>		参考文献を明記した。